

みどりのこえ

春号
2015

長野県環境保全研究所

平成27年(2015年)3月25日発行

●飯綱庁舎 〒381-0075 長野市北郷 2054-120 TEL.026-239-1031 FAX.026-239-2929

●安茂里庁舎 〒380-0944 長野市安茂里米村 1978 TEL.026-227-0354 FAX.026-224-3415

URL: <http://www.pref.nagano.lg.jp/kanken/index.html> E-mail: kanken-shizen@pref.nagano.lg.jp

No.50



在りし日の飯山駅とブナの木：手前が旧駅舎で左奥が建設中の新駅舎（2014年6月13日撮影）

駅前をブナの森に～北陸新幹線・飯山駅～

文・写真 井田 秀行

今年3月開通の北陸新幹線・飯山駅前には、飯山市の木であるブナが植栽されています。全国どこにもない新幹線駅を目指し、飯山市まちづくり課によって進められている、駅前をブナの森にする計画の一環です。

植栽計画に際しアドバイザーを拝命した私は、この任務に格別な思いがあります。飯山市に1ターンし、ブナの研究を続けてきた甲斐があったと思うと同時に、鉄道ファンだからです。今でこそ熱は薄れたものの十代の頃は俗に言う鉄チャンで、愛読書は時刻表でした。飯山線は豪雪地を走る日本有数の絶景ローカル線です。鉄チャンならば知らぬ者はいません。それゆえ飯山駅の任務に関われることは我が人生最大のイベントの一つなのです。

この計画で私には外せないことが一つありました。旧駅前のブナの木を新駅前に移植することです。昨年11月に役目を終えた旧駅舎は、そのたたずまいに加え昔ながらの待合室やキオスクなど多くの人の旅情をそそるものでした。残念ながら

現在は取り壊され跡形もありません。その旧駅舎前に人知れずあったのが1本のブナの木です。目通り直径はおよそ30cm、樹齢は推定50～60年。ブナとしてはまだ若く、2011年秋には実（種子）もたくさんつけたほどです。

一足早く新駅が開業した直後の昨年12月、このブナの木がシンボルツリーとして新駅の正面に移植されました。クリスマス前にはささやかながら青色LEDのイルミネーションで飾られ、2月現在も雪の中で美しく輝いています。駅前ロータリーの脇には雪国のブナ林を再現する区画も整備されました。立派な森になるまでは少なくとも50年から100年を要します。今はまだブナ林と言える状態ではありませんが、雪国のブナ林の玄関口にふさわしい駅となるよう、木々の成長を見まもるべく自らの任務に尽力する所存です。

（いだ ひでゆき／信州大学教育学部附属志賀自然教育研究施設 准教授。長野県自然保護研究所〔現・長野県環境保全研究所飯綱庁舎〕に1996年から2000年まで勤務）

Contents

【巻頭言】 駅前をブナの森に～北陸新幹線・飯山駅～	1	【報告①】「環境保全に取り組む市民大集合」	6-7
【特集】 平成26年度 山と自然のサイエンスカフェ@信州から	2	【報告②】「信州・気候変動モニタリングネットワーク」	8-9
第5回「カモシカとシカの暮らし」	3	【報告③】「千曲市周辺の自然に学ぶ」	10
第6回「身近な自然を感じる・学ぶ」	4	植物標本庫だより／読書案内『ねずみに支配された島』	11
第7回「信州 山と里の気候 その今と未来」	5	【お知らせ】平成27年度学習交流の催し	12